



OSAKA-TEMMABASHI ROTARY Club Weekly Bulletin

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目9番20号 大阪マルビル第一ホテル

例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪4F

会長 川原 和彦 幹事 永田 秀次 広報委員長 高良 尚志

電話(06)6345-1115(直通) 電話(06)6341-4411(ホテル) FAX(06)6344-8222

E-mail:temma-rc@temmabashirc.xsrv.jp http://temmabashirc.xsrv.jp



<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

NOVEMBER 8 2012 NO. 2179

ロータリー財団月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2179回)
- 2) ソング 日も風も星も
- 3) 卓話 ロータリー財団月間記念卓話
「未来の夢計画(FVP)について」
地区財団FVP委員会委員 山本 博史 様
ロータリー財団委員会

次週(11月15日)のお知らせ

- 1) 例会 (2180回)
- 2) ソング 友と呼べるのは
- 3) 卓話 創立45周年記念卓話
「大阪天満橋RC創立45周年に思う」
福井 興 会員

☆☆ 11月度のお誕生日 ☆☆

14日 勝見 茂 17日 川原 和彦
(敬称略)

** 先週の例会報告 **

創立45周年記念例会・祝賀会特集

☆☆ 45周年記念例会挨拶☆☆

大阪天満橋ロータリークラブ会長 川原 和彦



本日ここに高島ガバナーをはじめ多くのご来賓のご臨席を仰ぎ、創立45周年の式典を開催させていただきますことは、私どもクラブ全会員、慶びに堪えない次第でございます。

2660地区ガバナー補佐・代表幹事様なら

びに、ゆかりの深い各クラブ会長・幹事様、更に姉妹クラブ 台北陽明ロータリークラブ タイ国3350地区より多数の皆様にご出席を賜り、今日まで培われました厚い友情に心より感謝を申し上げます。

1967年(昭和42年)11月4日、大阪ロータリークラブをスポンサークラブとして産声をあげ、45年の歳月が流れました。

その間先輩諸兄のひたむきな情熱とご努力のお蔭をもちまして、日々成長を重ね、地域に密着した奉仕活動を継続して行うことが世界の平和に繋がるという基本姿勢を貫き、今日を迎えることができました。

本日、この歴史と伝統をあらためて深く心に刻み、次の50周年に向かって創意工夫を忘れること無く、「明るく・夢と希望を体感できるクラブ!」の更なる構築をめざし、全会員手を携え!「明日へ明日へと繋いで」参りたいと思います。

この45周年にあたり、準備にあたられました、郡実行委員長はじめ実行委員会の皆様、そして会員諸兄の種々のご尽力に心より御礼申し上げます。

最後になりましたが、2660地区ならびに各クラブの益々のご繁栄と、本日ご臨席の皆様のご多幸とご健勝をお祈り申しあげまして、45周年記念例会のご挨拶とさせていただきます。

☆☆ 出席報告 ☆☆ () 内は会員総数を基準とした値

| | | | | | |
|--------|-----|----------|----------|---------------|-----------|
| 国内ビジター | 0名 | 会員総数 | 69名 | 11月1日の出席率 | 91.04% |
| 国内ゲスト | 11名 | 会員出席 | 61名(67名) | 4週間前(10月11日)の | |
| 外国ビジター | 0名 | 出席規定適用免除 | 21名 | メイクアップを含む出席率 | 91.67% |
| 外国ゲスト | 16名 | 会員欠席 | 5名 | メイクアップ実施会員 | 2名(欠席者7名) |

☆☆ 出席者 ☆☆

| | | |
|-------------------|-----------|-----|
| R I 第2660地区 | 高島凱夫ガバナー他 | 3名 |
| 大阪RC | 松澤佑次会長他 | 2名 |
| 大阪大手前RC | 山本博史会長他 | 2名 |
| 大阪中之島RC | 針谷紘一会長他 | 2名 |
| 台北陽明RC | ロメオ会長他 | 6名 |
| タイ国 R I 第3350地区RC | | |
| チャイラット | パストガバナー他 | 10名 |
| 大阪天満橋RAC | | 1名 |
| 米山奨学生 | | 1名 |
| 青少年交換来日学生 | | 1名 |
| 当クラブ会員 | | 61名 |
| 事務局 | | 3名 |



当日は、晴天の午前10時に大阪天満宮境内で、本殿を背景に記念写真を撮った後、出席者全員本殿に揃って参拝し、奇しくも今年から始まった「11月1日=古典の日」に相応しく、古典芸能である雅楽「越天楽」の奉納演奏を鑑賞しました。その後正午頃から天満宮会館で例会・祝賀会が始まりました。

例会では、物故者追悼の後、会長の挨拶、祝電披露などが続き、寺井種伯会員(天満宮宮司)の記念卓話を聴いた後、記念事業として、「梅の植樹」の目録を天満宮に贈呈しました。



続く祝宴では、郡 創立45周年実行委員長の開会挨拶の後、来賓である高島 第2660地区ガバナー、松澤 大阪ロータリークラブ会長からそれぞれ祝辞を頂戴し、平田達男 RI第2660地区IM6組担当ガバナー補佐に乾杯の音頭をとって頂きま



した。そして、美味しい食事と並び、アトラクションとして二胡 王秀華さん、楊琴 付虹さんの合奏を楽しみ、石田道夫 実行委員会副委員長の閉会挨拶の後、高松貞彦 ソング委員長の指揮のもと、全員が輪になって「手に手つないで」を斉唱し、土産に紅白饅頭を頂いて散会となりました。



☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①地区より2012～13年度 地区大会 特別講演者の変更の連絡がございました。「山中教授がノーベル賞授賞式にご出席のためストックホルムに行かれますので、山中教授からのビデオメッセージと京都大学 i P S細胞研究所 副所長 戸口田 純也(とぐちだ じゅんや)教授による「i P S細胞研究の現況と未来」に代えさせていただきます。」とのことです。
- ②本日18:00から「ガスビル食堂」にて陽明RCならびにタイ国RCのウェルカムパーティーを開催いたします。関係各位宜しくお願いたします。

☆☆ 45周年記念卓話 ☆☆

寺井 種伯 会員
(大阪天満宮 官司)



今から十数年前(1994年)京都では平安遷都1200年の奉祝行事が一年間を通して賑々しく展開され、一昨年(2010年)には平城遷都1300年が奈良

に於いて、平城京跡地に宮殿再建を始め諸奉祝行事が盛大に開催された。それと相前後して大阪では、「(大阪城)築城400年」が、御堂筋パレード以外あまり記憶に残ることなく通り過ぎて行った。「違うんです！」大阪は日本の中心として、三度び古代皇都として歴史に名を留めているのです。

16代仁徳天皇は難波高津宮を定められ(313年)、茨田堤、大川の開削等の灌漑事業を進められ、また、里人の日常を通し税を三年間免じた後、「民の竈は賑わいにけり」と満足されるなどの御事績が知られている。第36代孝徳天皇は大化元年(645年)長柄豊崎宮をお定めになり、

♪大阪天満橋ローターアクトクラブ♪

11月第2例会のお知らせ

日時：11月21日(水) 19:30～20:50

内容：「大阪天満橋ローターアクトクラブ
OB、OGから歴史を学ぶ」
(担当：理事会)

場所：錦城閣

登録料：5,000円

登録先：幹事 谷 綾花 TEL：09051247458

mail：ternabashi@2660rac.org

登録締切：11月16日(金)

世に有名な「大化改新」の詔を発せられ、政治の大改革を実行された。第45代聖武天皇は天平16年(744年)に難波宮を定められている。前者二都は奈良朝以前であり、後者は平安京以前であって、「古都と言えば奈良、京都」と思われがちであるが、大阪・難波が歴史的にも政治経済の中心であった時代はさらにさかのぼることが出来るのです。

さて「天満」の語源ですが、天満宮の縁りで生まれたことは言うまでもない。天満宮は申すまでもなく菅原道真公(845～903年)を奉祀する神社であり、天曆3年(949年)村上天皇の勅願により当地に鎮座した。

道真公は藤原氏全盛の時代、他氏族ながら帝の信任を得て宮位昇進を重ね、ついには右大臣の位に就き、宇多帝に女御を入廷させるに至り、藤原時平をはじめ一門の讒訴に遭い、無実の罪で九州大宰府に流され、在府3年、望京のうちに薨ぜられた。

その年八月、都では大雨、雷が多く、翌年も春から夏にかけて雨降り、雷鳴とどろき、作物の不作、藤原菅根の横死、首謀者藤原時平の若くしての急死(39歳)、清涼殿の落雷で藤原一族の死傷者多く出る等、時の怨霊思想と相俟って都人は菅公の怨霊と口々に言い広めた。時の世相を表した「日本記略」に、「・・・世を挙げて言う、菅帥宿怨の為す所なり」と。醍醐帝は詔を発して左遷の宣命を焼却せしめ、後に正一位太政大臣の位が贈られるに至る。初めに京都北野に道真公を祀る社が出来、翌々年難波の碕(当宮の地)に天満宮が創祀され、「天満大自在天神」の神号を奉ることとなる。

古代この辺りは「兎我野」と称し、後に「大將軍の森」、さらに時代を経て「天神の森」と称せられるようになる(現在は南森町・北森町の名を残す)。

江戸時代となり、大坂は行政上三分され、南組、北組、天満組と称され、天満川(大川)以北すべてを天満組と称するに到る。因みに、縁りの町名も、菅原町、紅梅町、梅ヶ枝町、天神橋筋、天神筋等々が在る。

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

- ・鉄火丼
- ・鮪 胡麻 大葉 山葵 海苔 山の芋
- ・蒟蒻白和え
- ・赤味噌仕立
- ・豆腐 えのき 三つ葉 粉山椒
- ・梨

****台北陽明RC・タイRI3350地区歓迎****



10月30日深夜、台北陽明RC先発組のR o m e o 会長ご夫妻、T. K. さん、K A I さんをお迎えし、翌日31日に会員9名と共に神戸観光にご案内しました。南京町を散策後、中国酒家トアロード店で珍しいフカヒレの刺身等を振る舞い、その後ハーブ園を散策しました。

同日夕刻にはBerinさん、Contain erさんが合流し、会員19名参加で台北陽明RC歓迎晩餐会を心齋橋華蓮にて開催しました。台北陽明RC35周年記念式典時に大変お世話になったお礼の気持ちを込めたあたたかい会となり、大いに友好と親睦を深めました。



翌1日の45周年記念式典後には、国際奉仕活動について意見交換を行うため、ガスビル食堂会議室にて合同ミーティングを開催しました（台北陽明RC6名、タイ国ロータリアン8名、当クラブ会員11名参加）。白内障支援の現状や、水浄化支援プロジェクト案や、FVPの現状認識等について意見交換がなされました。

その後、引き続いてガスビル食堂にて台北陽明RC6名、タイ国ロータリアンとそのご家族17名、会員30名の参加でウェルカムパーティーを開催しました。台北陽明RCのロメオ会長とタイRI3350地区パストガバナーのChairatさんから45周年のお祝いのご挨拶を頂戴したのち、橋本国際奉仕委員長の乾杯の音頭で大変にぎやかな会がはじまり、相互交流の非常に盛んな有意義な時間を過ごしました。



翌2日は、夕刻に帰国される台北陽明RCの皆様と会員11名とで、ウェスティンホテル大阪日本料理「はなの」にてフェアウェルランチを開催し、改めて45周年記念式典参加のお礼と、親睦を深めました。そして、来年3月9日の台北陽明RC36周年式典への参加のご招待を頂戴しました。

その後、名残惜しくもホテルにてお別れのお見送りをしました。



夕刻からはタイRI3350地区の13名と会員17名とで、上海楼横堀店にてフェアウェルパーティーを開催しました。

白内障支援プロジェクト3カ年とその間に培った友好と親睦に思いをはせ、また東日本大震災のオりの、いち早い義捐金の申し出に感謝をしつつ、会の終わりには白内障支援を牽引してこられたLayeadさんの感涙をとまなうご挨拶で、心温まる会は更に意義あるものとなりました。

国際奉仕委員会

